



企画展

監督 大島渚 & 女優 小山明子



平成25年2月1日(金)~3月31日(日)

Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館



企画展観覧料金()内は団体料金

一般 200円 | 小・中学生 100円
(140円) (70円)

右の写真2枚→
『夏の妹』(1972)撮影風景



監督 大島渚 & 女優 小山明子



↑第3回川喜多賞贈賞式にて

日本映画を代表し、国際的な舞台で活躍してこられた大島渚監督と公私共に歩んでこられた小山明子さん。お二人の生み出した数々の映画作品を中心に、その偉大な足跡を追るのが、本企画展です。

大島監督は、1954年、松竹大船撮影所に入社、「愛と希望の街」(1959)で監督デビュー後は、「松竹ヌーヴェル・ヴァーグ」の旗手として一躍時代の先頭に立ちます。

小山明子さんは1955年、松竹にて女優デビュー、「新婚白書」(1955)で大島監督と出会い、監督の第4作目にあたる『日本の夜と霧』出演後の1960年に結婚。松竹退社後はともに、田村孟、戸浦六宏らと独立プロ「創造社」の設立に参加します。60年代を中心としたATGとの提携作品では、国内はもとより海外の映画祭や映画人によって高く評価され、各国で多くの大島特集が組まれます。

大島監督は、1973年に「創造社」を解散後、「大島渚プロダクション」を設立し、フランスとの合作『愛のコリーダ』(1976)を発表、活躍の場を世界にうつします。続く『愛の亡霊』(1978)ではカンヌ映画祭監督賞を受賞し、世界的評価を決定づけました。また、1980年より16年間、日本映画監督協会理事長を務め、映画監督の著作権問題に尽力されたほか、テレビのコメンテーターとしても活躍されました。1985年に川喜多賞、2000年に紫綬褒章、2001年にはフランス芸術文化勲章を受章されています。

小山明子さんは舞台やエッセイストとして活躍の場を広げ、自らの介護生活を綴った著書を出版、大島監督とのかけがえのない日々を多くの人達に伝えています。

本企画展は、ともに鎌倉ゆかりの松竹大船撮影所で映画界にはいり、ここ湘南で暮らしておられるお二人のこれまでの道のりと、日本と世界の映画界に果たしたその功績を貴重な展示資料と映画上映で追ります。



①新婚当時のスナップ写真②『愛と希望の街』スピード判ポスター③『少年』撮影風景④『太陽の墓場』(1960)海外版ポスター⑤Dartmouth Film Society 大島特集ポスター⑥第35回テサロニキ国際映画祭大島渚特集ポスター⑦第29回カンヌ映画祭にて⑧『戦場のメリークリスマス』海外版ポスター

展示資料協力: 小山明子
大島渚プロダクション

映画観賞料金 《記念館窓口、島森書店(鎌倉店)、たらば書房にてチケット販売》

一般 1000円 | 小・中学生 500円

映画観賞券のご提示で映画展もご覧いただけます。販売枚数に達した場合、当日券の販売はございません。

※各映画初日の火曜日、金曜日のみ2回上映、午前10時30分と午後2時

2月5日(火)午前10時30分、午後2時
6日(水)/7日(木) 午後2時

チケット発売 1月19日(土)



愛と希望の街

62分 / 白黒 / 35mm / 1959年
監督・脚本：大島渚
撮影：橋田浩之
音楽：真鍋理一郎
出演：藤川弘志、富永ユキ、
望月優子、渡辺文雄

長編デビュー作である本作は、自作の脚本「鳩を売る少年」をもとに映画化。貧しい生活ゆえに鳩を売る少年と裕福な家庭で育った女学生との交流と断絶を描く。助監督5年目、27歳での監督昇進は、当時の映画界では異例の早さであった。※大島渚監督による短編作品「明日の太陽」(1959年/6分)を同時上映

2月8日(金)午前10時30分、午後2時
9日(土)/10日(日) 午後2時

チケット発売 1月19日(土)



青春残酷物語

96分 / カラー / 35mm / 1960年
監督・脚本：大島渚
撮影：川又昂
音楽：真鍋理一郎
出演：島野ゆき、川津祐介、
久我美子、渡辺文雄

監督2作目となる本作は、犯罪をくり返し破壊していく若い男女の青春と旧世代の挫折を対比して描き、60年安保闘争の渦中で当時の若者に圧倒的支持をうけた作品。大島監督は「作家の映画」を主張し、同世代監督の作品群とともに「松竹ヌーヴェルヴァーグ」と呼ばれた。第1回日本映画監督協会新人賞受賞。

2月19日(火)午前10時30分、午後2時
20日(水)/21日(木) 午後2時

チケット発売 1月19日(土)



絞死刑

117分 / 白黒 / 35mm / 1968年
監督・脚本：大島渚
脚本：藤沢、深谷雄、佐々木守
音楽：林光
出演：伊藤雄之助、佐藤慶、
小山明子、戸浦六宏

ATG との提携による劇映画第一弾。在日朝鮮人 R 少年の死刑が不条理にも失敗する。心神喪失状態の R に周囲は罪の意識を取り戻させ死刑を再開しようと試みるが…。R を見守る想像上の女性を小山明子が演じた。カンヌ映画祭初出品作となり、フランスを中心に大島評価のきっかけとなった作品。

2月22日(金)午前10時30分、午後2時
23日(土)/24日(日) 午後2時

チケット発売 1月19日(土)



少年

97分 / カラー / 35mm / 1969年
監督：大島渚
脚本：田村孟
美術：戸田重昌
出演：渡辺文雄、小山明子、
阿部哲夫、木下雅志

実際にあった当たり屋一家の事件をもとに、高知から北海道へと過酷な旅をする少年の孤独な心象を軸に描いた大島作品の60年代を代表する傑作。低予算での全国縦断ロケとなり、多くの協力のもと製作された。少年の継母を演じた小山明子は毎日映画コンクール女優助演賞を受賞。キネマ旬報ベストテン第3位。

3月5日(火)午前10時30分、午後2時
6日(水)/7日(木) 午後2時

チケット発売 2月16日(土)



儀式

123分 / カラー / 35mm / 1971年
監督・脚本：大島渚
脚本：田村孟、佐々木守
音楽：武満徹
出演：河原崎健三、賀東敦子、
中村敦夫、小山明子

ATG 創立 10 周年記念映画。名門桜田一家一族が集まる冠婚葬祭の儀式を背景に、満州生まれの満州男と複雑な血縁関係をもつ輝道、律子、三人の情念が交差する戦後の25年間を描く。小山明子は家父長制の旧家のなか三人を見守る律子の母親・節子を演じた。大島監督による戦後の集大成として高く評価され、キネマ旬報第1位を獲得。

3月8日(金)午前10時30分、午後2時
9日(土)/10日(日) 午後2時

チケット発売 2月16日(土)



愛の亡霊

106分 / カラー / 35mm / 1978年
原作：中村糸子
監督・脚本：大島渚
撮影：宮島義典
出演：田村高廣、吉行和子、
藤竜也、小山明子

「長塚節外伝 車屋儀三郎事件」を原作に、前作「愛のコリーダ」に続きフランスとの合作により映画化。明治中期の奥深い山村を舞台に、妻と愛人、殺された夫の亡霊との愛の三角関係を自然が生み出す幽玄美の世界で描いた。小山明子は旧家の女主人を演じ、大島監督は本作でカンヌ映画祭監督賞を受賞した。

3月19日(火)午前10時30分、午後2時
20日(水・祝)/21日(木) 午後2時

チケット発売 2月16日(土)



戦場のメリークリスマス

123分 / カラー / 35mm / 1983年
原作：サー・ロバート・グレン・グレイ
監督・脚本：大島渚
脚本：ポール・マイヤースバーグ
出演：デビッド・ボウイ、坂本龍一、
ビートたけし、トム・コンティ

16億円の制作費をかけ日英合作で製作された本作は、ジャワの日本軍俘虜収容所を舞台に、敵対する軍人同士の立場を越えた複雑な情感を描く。ビートたけしの起用が話題を呼び、高い評価を得るとともに、本作で初めて主演と映画音楽を担当した坂本龍一によるテーマ曲も印象的な80年代を代表する名作。※20日は視覚障害者のための音声ガイド付上映

3月22日(金)午前10時30分、午後2時
23日(土)/24日(日) 午後2時

チケット発売 2月16日(土)



御法度

100分 / カラー / 35mm / 1999年
原作：駒馬遠太郎
監督・脚本：大島渚
音楽：坂本龍一
出演：ビートたけし、松田龍平、
武田真治、浅野忠信

幕末の京都、新選組を舞台に、美貌の少年剣士・加納徳三郎の入隊がきっかけで起こる隊内の愛憎劇を耽美的に、ときにユーモアで描いた快作。大島組を支えてきたスタッフが結集し製作された本作は、監督の生まれた「京都」を舞台にした唯一の劇映画でもある。カンヌ映画祭正式出品作であり、世界30カ国以上で公開された。

小山明子さん
講演会&サイン会



小山明子さん(女優)

◇講演者プロフィール◇1935年、千葉県生まれ。大谷学園在学中に雑誌「家庭よみうり」のカバーガールとなったことがきっかけで松竹にスカウトされ入社。1955年、「ママ横をむいてて」で女優デビュー。1960年に大島渚監督と結婚し、松竹退社後は独立プロ「創造社」の設立に参加。1970年、ATGとの提携作品「少年」にて毎日映画コンクール女優助演賞を受賞。フリーの女優として、テレビドラマ、舞台、執筆活動と幅広く活躍。2008年、大島監督との介護生活を綴ったエッセイ「パパはマイナス50点」(集英社)が日本文芸大賞エッセイ賞受賞。著作に「小山明子のしあわせ日和-大島渚と歩んだ五十年」(清流出版)、「女として、女優として」(清流出版)がある。現在、月刊「清流」にて「小山明子のしあわせ日和」を連載中。

各日、講演会料金：一般1000円

(記念館窓口、鳥森書店(鎌倉店)、たらば書房にてチケット販売)
講演会入場券のご提示で企画費もご覧いただけます。

2月2日(土) 午後2時開始 チケット発売 1月19日(土)

「大島渚監督との出会い ~二人の映画人生~」

3月31日(日) 午後2時開始 チケット発売 2月16日(土)

「妻として、女優として ~大島渚との日々~」

今年で結婚生活53年目を迎えられる大島渚監督、小山明子さん。大島監督の「自分の映画は社会派だけれど、家庭はメロドラマで愉くよ」との言葉通り、「世界のオオシマ」を支えてこられ、ご自身も多忙な女優生活を続けてこられた現在までを、家庭と仕事の両面から語っていただきます。なお、2013年3月31日は大島監督の81歳の誕生日にあたります。

2月2日(土) チケット発売 1月19日(土)

午前10時30分開始

少年 [英語字幕版上映]

映画観賞料金：
一般 1000円
小・中学生 500円

映画についての詳細は
中面をご覧ください。



2月16日(土) 午後2時開始 トークイベント料金 1000円 チケット発売 1月19日(土)

崔洋一さん(映画監督) 「愛のコリーダ」から「御法度」へ ~大島渚の映画術~

1949年長野県生まれ。大島渚監督の「愛のコリーダ」(1976)でチーフ助監督を務めた後、83年に「十階のモスクート」で劇場映画監督デビュー。93年、「月はどっちに出ている」で数々の映画賞を総なめにし、一躍脚光を浴びる。99年には、大島渚監督の「御法度」に近藤勇役で出演、圧倒的な存在感で演じ、翌年のカンヌ映画祭には大島監督、ビートたけしとともに参加する。その他の監督作に「刑務所の中」(2002)、「血と骨」(2004)などがある。現在、日本映画監督協会理事を務める。

【次回予定】通常展「映画に見るフランス 憧れのパリ」平成25年4月4日(木)~6月30日(日) ※展示及び上映もごさいます。

小町通り・八幡宮エリア
鎌倉ミュージアムめぐり **スタンプラリー**

実施期間 平成25年3月31日(日)まで

3館のスタンプを集めると景品をプレゼント!!

スタンプ・設置場所：
・鎌倉市鎌倉清方記念美術館
・鎌倉市川喜多映画記念館
・神奈川県立近代美術館 鎌倉

詳しくは
当館まで

*景品はくじで決定!

2013年
「友の会」
会員を募集中
＜会員特典＞

☆映画鑑賞引き換え券を2枚プレゼント

☆企画展・上映スケジュールのチラシ

講演会など各種イベント案内会報の郵送

☆企画展鑑賞料は無料

(ただし映画、講演会等は有料)

そのほか「友の会」会員向けのイベントがあります。

☆年会費は2000円。

会費・お申込み方法など、

詳しくは記念館窓口にお問い合わせください。



Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL: 0467-23-2500

HP: <http://www.kamakura-kawakita.org>

最新情報はWEBで
上映作品のスケジュール
記念館日よりなど、情報が満載です!



開館時間

休館日

9:00~ 17:00 (入館は16:30まで)
毎週月曜日
臨時休館: 2月11日(月・祝)
臨時休館: 2月12日(火)

鎌倉市川喜多映画記念館



鎌倉駅より
徒歩8分

チケット取り扱いお問い合わせ先: ◆たらば書房0467-22-2492 ◆鳥森書店 鎌倉店0467-22-0266